

TCA ニュース

= 2004年6月発行 = 【No. 183】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ

バンク走行を体験してみよう



自転車をもっと好きになる講習会

一昨年の春に第一回の自転車をもっと好きになる講習会として、京王閣へ競輪を見に行きましたが、今度は実際に競輪場のバンクを走るチャンスを得ました。

講師の大宮政志氏は東京オリンピック日本代表（当時日大）のちにプロに転じ長く上位で活躍しました。TCA会員の馬場孝さんとは競輪選手時代に親交があります。大宮さんが「乗れる」と判断した人は後半で高校生に混じって、タイム計測をしてもらえます。

TCAでは、20年以上前に1000mのタイムトライアル大会を開催しておりましたが、今回は体験走行を主体としておりますので体力に自身の無い方でも競技を意識することなく気楽にご参加ください。

- 日 時：2004年7月17日（土） 13時集合 14時～17時
- 集合場所：立川競輪場
- 申し込み：参加ご希望の方は、事務局（中村）までご連絡ください。
- 内 容：会員の大半はトラックレーサーに乗るのが初めてでしょうから、事前にレクチュアを受けます。トラックレーサーの貸出は約15台。ペダルにはストラップがついていますが、SPDの靴とペダルを持参しての付け替えは可能です。スニーカーで乗ることもできます。ヘルメットは自分のものを用いるのはもちろんですが、競輪用の物を貸し出す用意もあります。



2003年度 初心者乗り方教室の集計

昨年度のパレスサイクリング乗り方教室参加者は、740名でした。（重複を除いた数）女性が419名（56.6%）、男性が321名（43.4%）です。

コースへ出て終了証を渡したランク5（25%）と一応乗れるようになったランク4（48%）を合わせると73%の達成率です。

最高齢は、70歳の女性でランク4の結果で乗れるようになりました。

ランク	5	4	3	2	1
人数	185	356	41	14	143
比率(%)	25.0	48.2	5.5	1.9	19.4

また、10歳未満が76.7%、20歳以上は12.3%（60歳以上は2.3%）でした。

東京いいとこ自転車散歩ホームページ URL：<http://www.hi-ho.ne.jp/t-kitagawa/>

【6月1日現在 会員数293名】

事故はもうイヤ！

と言って逃げるわけには行きません。 事故の後処理が大切ですぞ！

T C A 会員：近藤 隼人

3月に入り三菱自工の車輪脱落事故に関する報道がかまびすしいですが、被害者にしてみれば「なんでもっと早く・・・」といった気持ちが強いのではないのでしょうか。私も被害者の立場にたつと加害者に分かってもらうための“思い”がいかに大変か、理解できることが起きました。

3月初旬のサイクルツーリングで、伊豆修禅寺、湯ヶ島、仁科峠を越え松崎へ下る途中の西伊豆町一色で、妻が工事中の仮橋プレートの隙間に前輪が挟まり、前歯2本が歯茎から折れ曲がる転倒事故を起こしました。

交通警備員に道路管理が悪いことを告げ、救急車を呼ぶよう要請したのですが、時間がかり待っている間に救急病院に行けるとのことでした。

妻の治療中私は松崎警察署に電話し、道路管理が悪いために事故になったことと、サイクリストのためにすぐ直すよう警察の方から工事施行業者に指導するようお願いしました。

翌朝民宿のご主人にバス停まで送ってもらう時、足を伸ばして事故現場を見に行きました。すると、証拠隠しをしたとしか思えないように仮橋のプレートは隙間なくきれいに揃えてありました。内心どうやって工事業者に管理ミス認めさせるかを考えたのですが、なかなか思い浮かびません。

事故直後は怪我人のことしか思いもつきませんでした。プレートの隙間が空いた事故現場や告知看板などを、カメラを持っていたのだから写真を撮っておけば良かったと後になってから思ったものです。

7、8年前、友人Aさんは工事中の道路で転倒事故を起こし数針縫う怪我をしました。彼のもっていった先が直接の管理責任者である市役所だったせいか、全く埒が明かかなかったことを聞いています。

加害者が責任を感じなく振る舞った場合、被害者側はどういった対応をすればいいか、考えると難しい問題です。

帰宅すると工事業者の社長からお詫びの電話が入り、前輪が挟まる隙間が確かに空いていた管理ミス認め、治療費は加入している保険ですべて支払うことを約束してくれました。PL法が施行されてから道路工事業者の意識が変わったのか、不幸中の幸いで良心的な業者だったのか、それとも西伊豆町と言う地域性がそうさせたのか、よく分かりませんが交通警備員と警察に管理ミスを訴えたことが役立ったことは確かです。

昔のようにしらを切る業者は世間からバッシングを受けるような時代になっていますが、自分の不注意だけが事故原因ではないことを訴え分かってもらう努力が必要だと痛感しています。



第8回 ツアー・オブ・ジャパン 自主警備の顛末

T C A 理事：北川 常夫

昨年、SARS騒ぎで初めて中止になったツアー・オブ・ジャパンが今年は復活した。昔は日比谷からの移動コースと周回コースを一年毎に担当していたが、ここ数年T C A

には、大井埠頭の周回コースの立哨を割り当てられる。周回コースの担当は、拘束時間が長い分辛いのが公然とレースの経過を見ることが出来るので楽しみでもある。

今年は、213～232の立哨地点を35名で割り当てられた。ゴールから南に位置する全地点の担当である。エントリーしてくれた人の性別・年齢・交友関係等を意識して配置案を作成する。

加藤副会長と中村事務局長・渡辺指導部長をフリーとして班の編成を考える。女性はトイレの配慮もしなくては。配置表と名札を作成して前日に事務局へ届けたら渡辺さんから宅急便で人数分の実施要領のコピーが届いていた。天気が不安なため本部からビニール雨着が届いている。明日使わずに済めば良いのだが。事務局長は、配置地図や名簿をガラス戸に貼って翌朝の準備を済ませていた。明日着るシャツと帽子を受け取って帰る。翌朝集合してから着るなら前日持って帰って家から着て出て来れば荷物が減る。

折りたためるミニで事務局まで行き、受付作業を行う。「弁当が未だ届かない。」事務局長が慌てている。続々と来る会員のチェックをしながら帽子・シャツ・プログラム・要領を渡す。専務理事と足利君は昔もらったシャツを着て来た。その手があったか。

弁当とお茶が配達されて来た。貸切の都バスも待機している。みんなで乗り込むことにする。副会長、近藤隼人さん、磯部君の輪行袋を合わせて都合4台の自転車をバスに持ち込む結果になった。

現地に着いたら指定場所で順番にグループ毎にバスを降りていく。中村さんと渡辺さんには最後まで乗っていてチェックして戻って来てもらう。不要だと言ったのに雨着の箱を持って来ている。ご苦労なことだ。我々は、交差点での各自の位置を確認しながら交通規制の時刻を待つ。ガードマンやテレビクルーも来ている。9時直前に三角コーンを並べるのを協力して交差点内の規制を始める。後は、前座の市民レースの開始を待つ。

市民レースが始まりコーナーの通過を見ていたら案の定、曲がりきれずに分離帯に接触して落車した。歩道へ入れてチェンが外れたのを直してやったが、鎖骨をやったとかで棄権の意志を示したので収容車に乗せる。市民レースはクラス別なのでひっきりなしにやってくる感じだ。おまけにヘルメットカバーの区分が無くなってゼッケンだけになったので区別が難しい。

10時20分頃市民レースが終わったので今のうちに弁当を食べることにする。

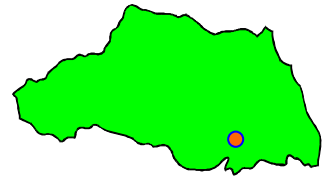
メインのレースは、日比谷を11時スタートなので15分頃に来るはずである。

先導車に続いて集団が来た。コーナーを通過してチームカーも続く。さすがにプロは上手い、迫力も違う。2分で城南島を折り返して来て反対側のコーナーを通過する。さらに3分で最後のコーナーを通過してゴール地点へ向かう。この交差点は三度の通過を楽しめるが、その分忙しい。歩行者を横断させるのも各々の方向と声を掛け合っただけの確認が必要となる。観客も増えて来た。

周回は、12分程度で回って来ている。2分後5分後12分後のサイクルで通過するから他の場所の様子を見に行く余裕が無い。先行グループが逃げて大集団との差が開くと折り返して来るタイミングが複雑になってますますややこしい。炎天下で喉が渴いて渡辺さんが届けてくれたペットボトルがたちまち空になる。ラップタイムをメモしていたが最初の周回をカウントするのかがどうか判らないのでゴール地点にいる副会長の携帯に電話したが繋がらない(後で聞いたら置いて来たそうだと何のための携帯だか)。仕方ないので磯部君に連絡してアナウンスを確認してもらう。ゴール前に携帯所有者をもう何人が配置するべきだった。

14:25最終周回の通過とゴールインを確認したのでゴール地点へ移動する。来た時と同じバスでみんな一緒に品川駅まで行って解散。有志14名は反省会を口実に新橋のライオンへ向かうこととする。ここでの生ビールがたまらなく美味かった。結局、貰った謝金の倍使って飲んで解散した。

第40回 関東甲信越ブロック サイクリングラリー埼玉大会



歴史と未来と自然との調和！！

さいたま新都心が誕生して6年、また政令指定都市さいたま市（旧浦和・大宮・与野）が誕生して3年がたちました。『さいたま』はみどりと水と自然がいっぱい。新都心から数分も走ればそこは自然のオアシス。新しきもの、古きものとの調和、歴史と未来が共存するこの街をのんびりサイクリングしましょう。

{開 催 要 項}

1. 主 催 (財)日本サイクリング協会・関東甲信越サイクリング協議会
2. 主 管 (財)日本サイクリング協会埼玉支部、埼玉県サイクリング協会
3. 期 日 2004年10月10日(日)～11日(月) 雨天決行
4. 開 催 地 埼玉県さいたま市
5. 宿 泊 地 『ラフレさいたま』
埼玉県さいたま市中央区新都心3-2 TEL 048-600-5500
『プリランテ武蔵野』
埼玉県さいたま市中央区新都心2-2 TEL 048-601-5555
(さいたま新都心駅(京浜東北)・北与野駅(埼京線)下車7分)
6. コ ー ス Aコース：歴史と未来をみる(20km) = 新都心、氷川神社、盆栽村
Bコース：水と生活をまなぶ(30km) = 荒川サイクリングロード、彩湖
Cコース：緑と史跡にふれる(45km) = 見沼田圃・通船堀、さぎ山記念公園
7. 募集人員 300名(宿泊250名、日帰り50名)
8. 参 加 料 宿泊パック〔宿泊、記念品、懇親会、保険他を含む〕
JCA会員 16,000円 一般参加 18,000円
かんぼ(簡易保険)加入者で『ラフレさいたま』に宿泊する人は
1500円の割引になります。
日帰りパック〔記念品、懇親会、保険他を含む〕
JCA会員 7,000円 一般参加 8,000円
9. 参加資格 自己の責任と能力でサイクリングが出来る方。
未成年者においては保護者の承諾を必要とします。
15歳以下の方は引率者を必要とします。
10. 申込期間 2004年6月1日～7月10日
ただし、期間内でも定員になり次第締め切ります。
11. 申 込 先 参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて東京サイクリング協会へ申込んで下さい。
東京サイクリング協会でもとめて大会事務局に申し込みます。
詳しい開催要項等は、TCA事務局にお問い合わせ下さい。
12. 留意事項 納入された参加費は不参加の場合でもお返ししません。
使用する自転車は各自の責任で、十分な点検整備を行って下さい。
簡易保険加入者でラフレ宿泊を希望する人は必ず証明書を添付してください。
自転車を送る場合は各宿泊施設に直接お送り下さい。